



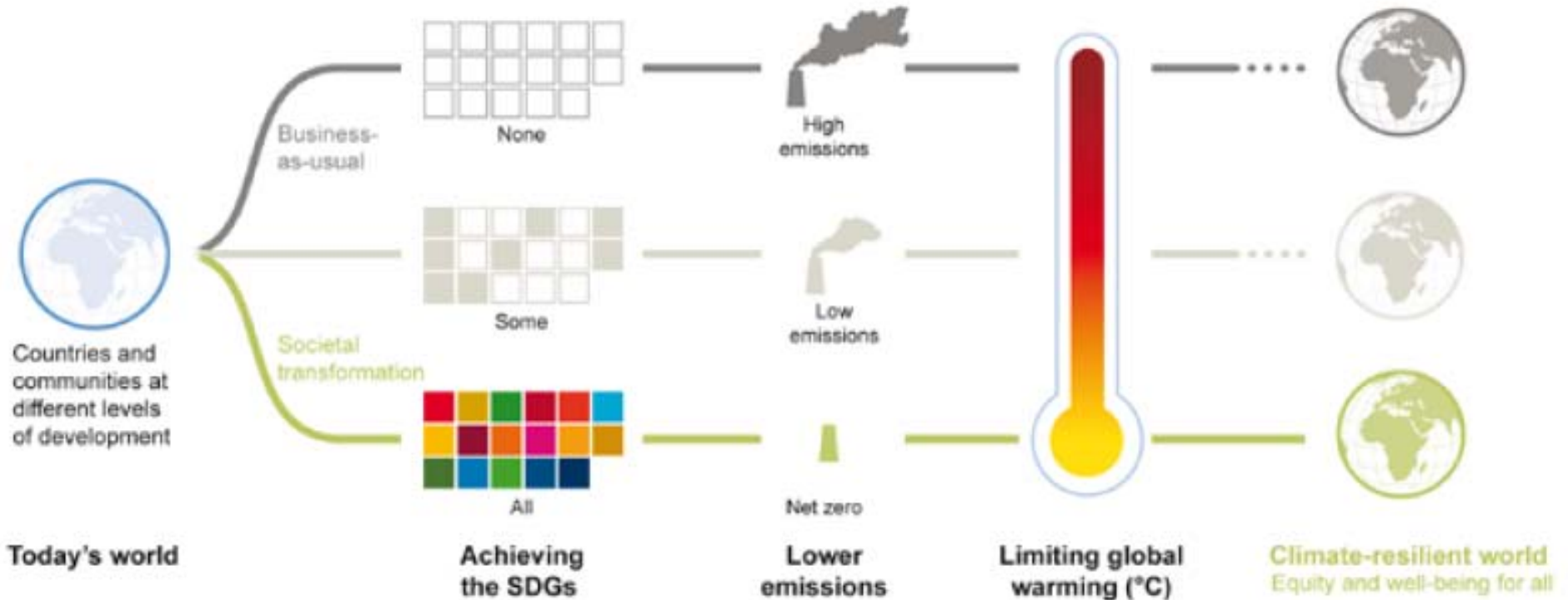
OECC(第2回)橋本道夫記念シンポジウム  
「気候変動適応策の国際展開:G20サミットを視野に」

# 持続可能な開発に向けたJICAの取組 ～気候変動適応策を中心に～

2019年6月3日

独立行政法人国際協力機構 (JICA)

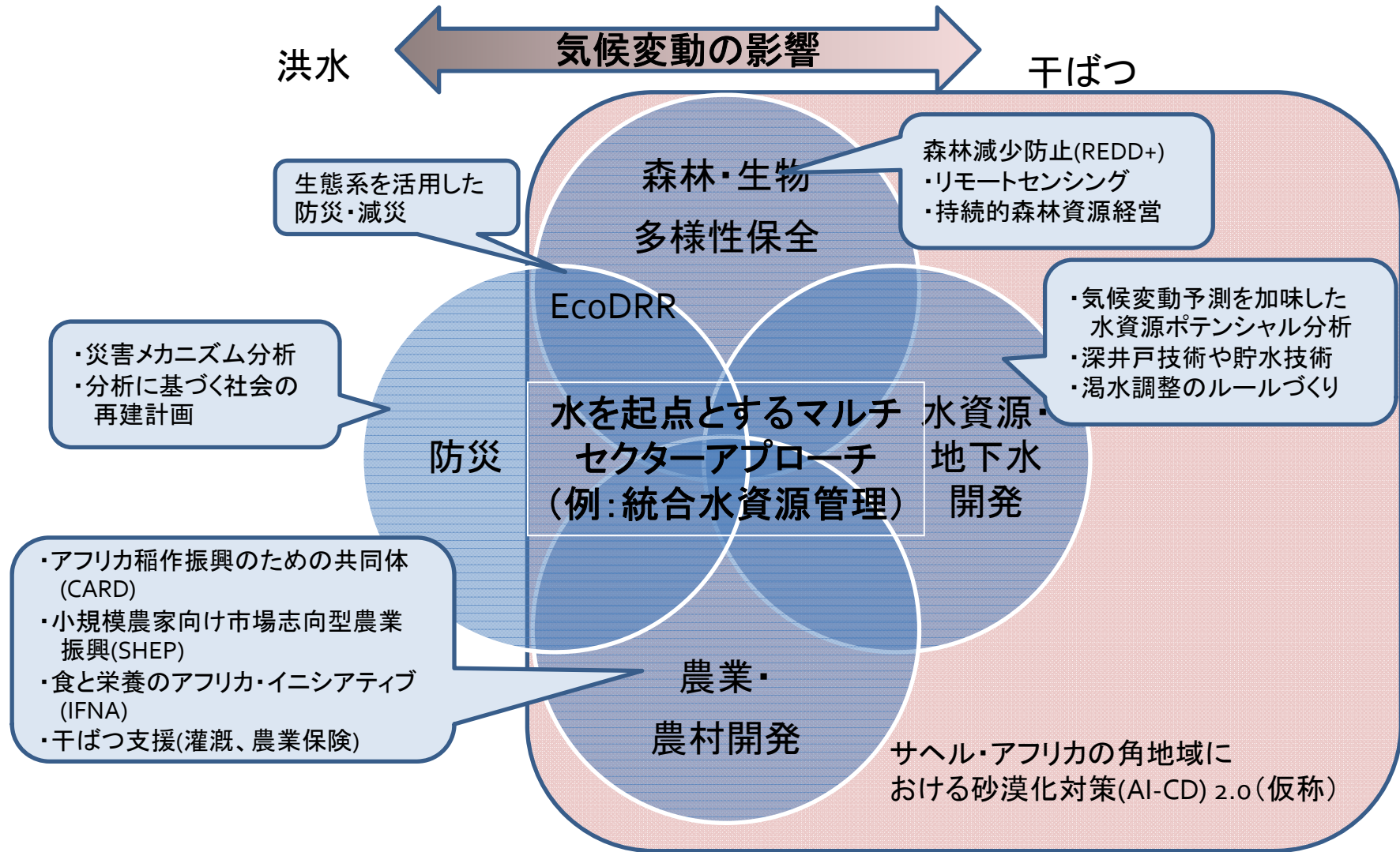
地球環境部長 武藤 めぐみ



IPCC 1.5°C特別報告書 第5章 FAQ 5.2

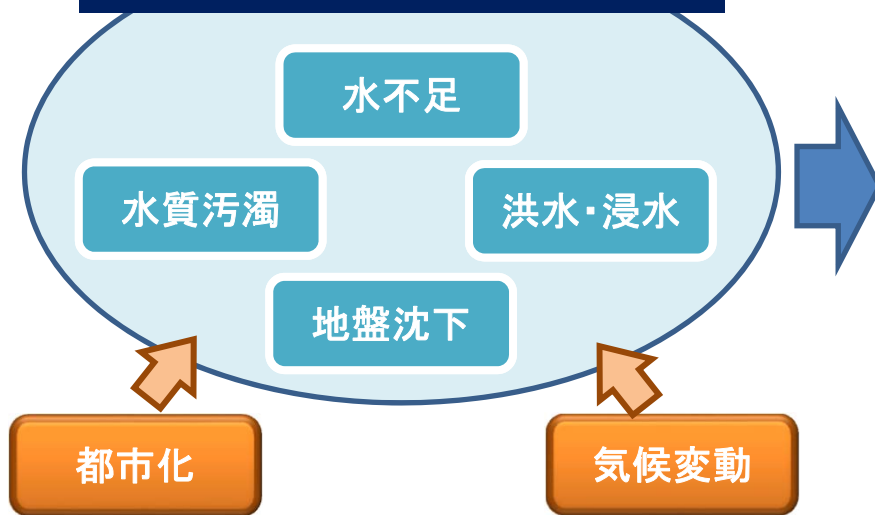
- 持続可能な開発と1.5°C目標の同時達成を視野に、気候変動に強靱な社会へ
- SDGsの複数のゴールへ分野横断型で取組むことにより、Trade offを回避しつつ、シナジーを実現 →社会変革

# 気候変動との闘い(サヘル・アフリカの角地域)



# アジア大都市における水資源管理への取組

## アジアの大都市の水問題



## 統合的な水資源管理が必要

- ① 表流水・地下水・雨水
- ② 利水・治水・水環境
- ③ 上流域と都市域
- ④ 上水道・下水道・雨水利用・雨水排水
- ⑤ インフラ・法制度・規制・住民参加・水需要管理
- ⑥ 気候変動対策、防災、水資源管理

## ケース: ジャカルタ地盤沈下対策プロジェクト

- ① モニタリング
- ② 緩和策: 地下水揚水規制、代替水源確保
- ③ 適応策: 防災
- ④ 体制整備、啓発
- ⑤ アクションプラン



## JICAのアプローチ

- ① 気候変動対策の主流化、防災の主流化
- ② 多岐に亘る課題と組織を束ねるトップの啓発
- ③ 政策推進・社会的合意形成のメカニズムの構築
- ④ データに基づく科学的な政策立案
- ⑤ 実行可能な計画策定と実施支援
- ⑥ 新たなファイナンス方法の追求
- ⑦ 他の開発パートナーとの連携

# アジア大都市における防災主流化



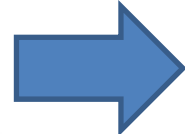
気候変動



人口増加・都市化



乱開発と環境破壊



リスク  
増大



世界の災害犠牲者の9割は開発途上国の人々、その6割以上がアジア地域、特に大都市

## Case: フィリピン:ダバオ市

### 総合治水対策M/P

- 市内3河川の外水対策
- 中心市街地の内水対策
- 高潮対策

### インフラ開発計画策定

- 管理能力向上

### Eco-DRR

### マングローブ林整備

気候変動による  
洪水の頻発  
海水面の上昇

- 開発による新たなリスク創出の防止
- 防災配慮
- 事前防災投資

外部資金リソースとの連携を検討(世界銀行、アジア開発銀行)



災害に強靱な都市の総合的整備を支援

# 最後に

従来

→ インプット→アウトプット  
● 個別分野枠内で協力  
(例: 砂漠化、上水、防災)

SDGs時代

→ 気候変動適応を目的としてインパクト志向  
● 複数分野の組み合わせが不可欠  
● スケールアップを視野に

全てに影響:

アプローチ選択～インプット～アウトプット～予算管理～チーム編成・人材育成～調達～資金動員